

2020年7月
No.20-114a(本)※1

「TRG(T 細胞受容体 γ 鎖)遺伝子再構成《PCR 法》」 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、標記項目につきましては、現行試薬の販売中止により同一メーカーが販売する代替試薬に変更させていただきますので、取り急ぎご案内申し上げます。

また、本変更とは別に8月3日(月)受付日分より、免疫関連遺伝子再構成《PCR法》／チャート報告書の仕様も変更となります。詳細はINFORMATION No.20-113a(全)※1をご参照ください。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。
敬具

記

■対象項目/変更内容

頁	項目コード	検査項目名	変更内容	新	旧
101	4989	TRG(T 細胞受容体 γ 鎖) 遺伝子再構成《PCR 法》	検査方法	PCR・キャピラリー電気泳動法	同左
			検体量 / 保存方法	EDTA-2K 加血液 3mL/冷蔵 または 骨髓液 1mL/冷蔵 または 組織 200mg(6mm 角)/凍結 (-70°C以下)	同左
			基準値	再構成を認めない	同左
			所要日数	9~13日	同左
			検査実施料 / 判断料	2,429 点 遺伝子関連・染色体検査判断料	同左
			検査委託先	LSI メディエンス (→1)	同左

■変更期日

●2020年8月3日(月)受付日分より

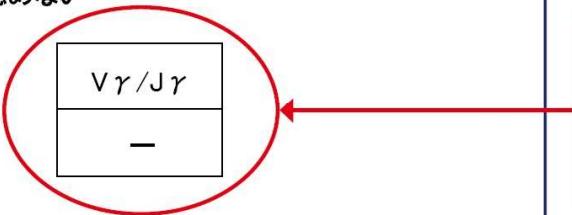
TRG(T 細胞受容体 γ 鎖)遺伝子再構成《PCR 法》

現行試薬の販売中止に伴い、同一メーカーが販売する代替試薬へ変更いたします。現行試薬は TRG 遺伝子領域を 2 種類のプライマーミックスに分けて増幅を行い再構成を検出しておりましたが、新試薬では TRG 遺伝子領域を網羅できるプライマーミックス 1 種類で増幅を行い、再構成を検出します。

本変更に伴い、8月18日(火)ご報告分より別紙報告書も下記の通りに変更させていただきます。なお、変更後は現報告書でのご報告をいたしかねますので、予めご了承の程お願いいたします。

また、本変更とは別に8月3日(月)受付日分より、免疫関連遺伝子再構成《PCR 法》／チャート報告書の仕様も変更となります。詳細は INFORMATION No.20-113a(全)※1をご参照ください。

【新報告書見本】

株式会社 LSI メディエンス		遺伝子検査報告書		* 45793-20PM-0005 *	
()	()	病院名	報告日	年 2 月 日	
施設名		様	受付日	年 2 月 日	
氏名		様	保存No.		
科名	担当医	先生	検体No.		
病棟	材料	採取日	年 月 日		
カルテ No.	ID	性別	年齢	才	担当者
検査項目	TRG 遺伝子再構成: PCR 法			責任者	
【検査結果】 再構成を認めない					
					
【判定の表記】 +: 陽性 -: 陰性					
判定が陰性であっても明瞭なピークが認められる場合、次の記号で表します。					
※: ピーク高が陽性コントロール以下である					
# : ピークの出現位置が陽性出現範囲外である					
この場合添付のチャートをご参照ください。					
(変更箇所) 新試薬では、TRG 遺伝子を網羅できるプライマーミックス 1 種類で増幅を行うため、1 種類の結果のみのご報告となります。					
【判定基準】 検出されたピークが規定された出現範囲内であり、かつ陽性コントロールのピーク高よりも高い場合に陽性と判定いたします。					
【陽性ピーク出現範囲】 Vγ/Jγ : 159~207bp					
【方法】 DNA 抽出 → PCR → キャピラリーエレクトロforense → 結果判定					
【参考文献】 Leukemia 2003;17:2257-2317 JMD 2010;12(2):226-238					
お問い合わせ先 株式会社 LSI メディエンス 遺伝子解析部 遺伝子検査グループ 〒174-8555 東京都板橋区志村3-30-1 TEL: 03(5994)2496 FAX: 03(5994)2973					
1/3					

※実際の報告書はA4サイズです。